

2007年8月1日

近山スクール東京ニュース No.9

共催：芝浦工大オープンテクノカレッジ／財団法人 日本住宅・木材技術センター
177-003 東京都練馬区富士見台 3-24-10 (事務局) tel 03-5971-2309 fax 03-5971-2329
E-mail:tokyo.scool@chikayama.com URL:http://tokyo.school.chikayama.com



近山スクール東京
tokyo.school@chikayama.com

2007年度 「木造住宅を基礎から学ぶ講座」の募集が始まりました。

今年で3年目を迎える当講座の受講者の募集を開始します。募集要項、講座の内容など詳細は、ホームページをご覧ください。

....*..*..*..*..*..*..*..*

ここが面白い・・・講座のポイント

....*..*..*..*..*..*..*..*

各講座は、木の家をつくる上で、新しい考え方や、新しい技術的な内容を実践的に盛り込んでいます。

◆10月13日(土)

第1講 地域の材をまちにつなげる

第2講 日本の山の木を使うネットワークの可能性



家づくりに携わる人が日本の山の木を入手し使い、その結果、山に再生費用を戻す仕組みについて、木材プロデューサーや林業家、山とのネットワークづくりを実践している設計者が話します。

講師・戸塚元雄、大河原章吉、長谷川敬

◆11月17日(土)

第1講 家づくりと職人

第2講 大工と考える木造住宅のつくり方



木造の家づくりに欠かせない職人の現状と、設計者と職人の連携について、研究と実践の両面からのお話

です。講師・蟹澤宏剛、丹呉明恭

◆12月15日(土)

第1講 山辺豊彦の木構造講座・初級編Ⅰ

第2講 山辺豊彦の木構造講座・初級編Ⅱ



現在、重要性がクローズアップされている木構造について、初歩から分かりやすく解説します。講師・山辺豊彦

◆1月19日(土)

第1講 木造住宅の防火を考える

第2講 左官の技術を一般の住宅に使うには



第1講は現在の法規制の中で、木を使う可能性の大きさを講義します。第2講は昔の集落にあった「結」のようなワークショップによって土壁の家を楽しく低コストでつくる手法をお話します。講師・安井昇、勝又久治、金田正夫

◆2月9日(土)

第1講 シックハウスにならないため材料選び

第2講 実践! 日本の木と自然素材の家づくり



第1講は建材に含まれる化学物質の実態や正しい選択方法、利用を中心にお話します。第2講は無垢の木と自然素材の使用に特化した工務店の取り組みです。

講師・鈴木光明、直井徹夫



◆3月15日(土)

- 第1講 快適な環境は、体から建築、地球環境へ
- 第2講 パッシブな工夫で快適な住宅をつくる事例



快適で健康な生活が送れて、環境に与える負荷が小さい。そんな木造の家づくりについて広い視野から考えます。受講生との意見交換も予定しています。

宿谷昌則、金田正夫、安田滋



体感してこそ生きた勉強



講座で勉強した、新しい考え方や、新しい技術を受講生自身が試す番です。体験して見ましょう。特別講座&フィールドツアーの概要をお知らせします。詳細は10月の第1回講座のときにお知らせします。

◆特別講座『山辺豊彦の改正建築士法に伴う木構造の留意点』 3月29日(土) 午後1時~5時

「震災被害の報道や計算書偽造事件など、建物の構造に対する世間の関心は日毎に強まっています。度重なる法改正は、木造住宅を建てることを阻もうとしているかの印象を受けます。現状の法制度の中で、木造を実現させていくための考え方や勘どころのヒントなど掴みたいと期待の声が高まっています。」 **会場・芝浦工大教室棟3階305号**

◆フィールドツアーin 飯能 4月19日(土)



▽飯能の山に入り、丸太切りなどの経験を通し、

木の性質を体験します。お話:大河原章吉さん(フォレスト西川)と素材生産者原さん(2006年の受講者)の実技指導があります。▽伝統的木造住宅の5分の一模型の組立て、解体(指導・清水棟梁)の体験と、深谷基弘教授に、清水棟梁から学んだ伝統的工法とはについて、語ってもらいます。



◆フィールドツアーin つくば 5月 日(土)

▽屋根の緑化をテーマにしたけんちく工房邑のある広大な敷地で、お話を対馬英治さんにしても



らいます。

▽宿谷昌則教授には、自然環境に触れて、人間も自然の一部であるという実感の中で、環境と建築の講演をしてもらいます。▽バルテンシュタインさんの水道光熱費ゼロの家への挑戦、など木造建築と環境をテーマに学びあい、語り合う一日です。



§ 編集後記 §

2007年の講座に向けて、今年はいままで2年間の実績の上に、新たな発展を願って、講座や特別講

座&フィールドツアーの企画を準備してきました。受講者の皆さんとともに楽しい内容にしていきます。